



検査項目のご説明

血液学的検査				
略号	検査項目名	基準値	単位	説明
WBC	白血球数	男:39~98	10 ² /μL	細菌や異物を食べたり、病気に対する抵抗力を強めたりする働きがあります。そのため、感染による炎症が起こると増えてきます。
		女:35~91		
Hb	ヘモグロビン濃度	男:13.5~17.5	g/dL	赤血球に含まれ酸素を体内に運ぶ色素蛋白で貧血の指標となります。
		女:11.3~15.0		
PLT	血小板数	13~37	10 ⁴ /μL	血小板は出血した時に血を止める働きをしています。減少すると出血しやすくなり、逆に増加すると血栓が起こりやすくなります。
Neut	好中球	40~67	%	好中球は白血球の約半分以上を占め、主に病原菌が入ってきたり異物が生じたりすると真っ先に増加して、病原菌や異物を食べて分解する働きがあります。
PT-INR	プロトロンビン時間(国際標準化比)	0.85~1.15		血液凝固させるための蛋白質の機能を評価します。抗血栓薬の効果判定などにも利用します。

生化学的検査				
略号	検査項目名	基準値	単位	説明
Alb	アルブミン	3.8~5.1	g/dL	全身の栄養状態、肝機能障害を推測できます。
CK	クレアチンキナーゼ*	男:56~244	IU/L	骨格筋、心筋に多く含まれこれらの障害を推測します。
		女:43~165		
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ*	8~38	IU/L	肝臓・心筋、骨格筋、腎臓の細胞中に多く含まれる酵素でこれらの障害を推測します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ*	4~44	IU/L	ASTとともに肝臓・腎臓の細胞内に多く含まれる酵素でこれらの障害を推測します。
T-Bil	総ビリルビン	0.2~1.2	mg/dl	肝臓・胆道疾患で増加し、黄疸の指標となります。
eGFR	推定糸球体ろ過量	60以上	ml/min/1.73m ²	体内の老廃物をろ過する腎臓のフィルター機能を表したものです。 体表面積1.73m²あたりの値 で示されています。
血清Cr	クレアチニン	男:0.5~1.0	mg/dL	筋肉内で作られエネルギーとして使用されたたんぱく質の老廃物で腎臓から排泄されます。腎臓機能の指標となります。
		女:0.2~0.8		
K	カリウム	3.3~4.8	mEq/L	体内の酸やアルカリの電解質バランス状態を反映します。。体内のカリウムのほとんどは細胞内に存在し細胞、神経、筋肉が正常に機能するのに必要です。
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.6~6.2	%	ブドウ糖と結合したヘモグロビンで過去1~2カ月の血糖状態を反映します。

★基準値とは多数の健常人を検査し、得られた数値を集計して約95%のヒトが範囲内に入るように統計処理して決められた数値です。

★病気の診断は、いくつかの検査値の組合せや、上記以外の多くの検査・診察などの結果を医師が総合的に判断することで行なわれます。
したがって、1つの検査項目について重視し過ぎたり、逆に軽視したりすることは間違いのもとになります。
判定については担当医にお尋ね下さい。

★検査の基準値や単位は、検査方法や試薬・検査機器によって施設ごとに異なる場合があります。



神戸赤十字病院 薬剤部

2016年2月